

政策シート

政策名

02 生涯スポーツを楽しむ機会の拡大

予算費目名

01 スポーツ文化推進費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野

06 文化・生涯学習

理想の姿 (30年後)	◆創造都市を実現し、音楽の都として世界から注目されている。
政策の柱 (10年後)	◆音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。 ◆多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。

基本政策

01 感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

共生社会の実現に向け、地元トップチームやパラスポーツ団体と連携したイベントの誘致や開催により、市民との交流の場を創出するなど、誰もがスポーツを楽しめるインクルーシブスポーツ推進や、多様化するスポーツに対応する環境づくりを進める。

トップアスリート連携事業や浜松シティマラソン、スポーツイベント開催など地域スポーツ振興事業の展開や、合宿や大会誘致などスポーツコミッション事業の拡大により、スポーツ人口の拡大、浜松市の情報発信と交流人口の拡大を目指す。

ビーチ・マリンスポーツ推進事業は、必要な拠点整備を進めるとともに、競技団体等と連携したイベントの開催などにより、機運の向上と競技人口の拡大を目指す。

スポーツ施設は、指定管理者や各種スポーツ団体等とも連携し、ソフト事業の充実による地域スポーツ振興や賑わい創出を図るとともに、施設の設置規模や目的に合わせた施設のあり方検討を行い、より一層のスポーツ振興に繋げる環境づくりを進める。

(3) 関連するSDGsのゴール

③保健	⑧成長・雇用
⑭海洋資源	⑰実施手段

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	2,591,990	2,183,035	2,027,211	1,584,549	2,321,991	4,051,969
決算	2,550,385	2,141,722	1,939,104	1,513,270	2,183,206	
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	85,680	84,980	86,380	79,800	79,800	96,600
年間経費(予算又は決算+A+B)	2,636,065	2,226,702	2,025,484	1,593,070	2,263,006	4,148,569

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
スポーツ実施率(1回以上/週 実施している人の割合)	%	目標	65	65	65	65	65	65
		実績	42.5	49.5	50	-	48.2	
大型スポーツイベント等誘致数	件	目標	10	10	10	10	10	10
		実績	13	3	14	16	38	
トップアスリート交流人数	人	目標			1,500	1,650	1,820	2,000
		実績			2,124	2,154	2,683	

4 前年度(2023年度)政策評価

(1) 前年度(2023年度)実施内容

地元トップチームやパラスポーツ団体との連携による新たな大型イベントの誘致活動により、スポーツを通じて交流人口の増加が図られた。シティマラソンやトップアスリート連携事業、インクルーシブスポーツの体験会などのスポーツイベントを開催し、競技スポーツや生涯スポーツの振興とともに、賑わいの創出や地域の活性化、共生社会の実現に向けた取り組みを行った。

スポーツ施設については、指定管理者との連携や各種団体と意見交換を行い、誰もが安心してスポーツに取り組める環境づくりを行った。ビーチ・マリンスポーツ推進事業について、江之島ビーチコート建設に向けた準備を進めるとともに、浜名湖沿岸のマリンスポーツに必要な施設整備に向けた調査を進めた。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
新型コロナウイルス感染症の5類移行にともない、大会の再開や施設運営も通常の形となった。ウィズコロナ時代においては、引き続き感染症対策の実施とデジタルの活用を拡大し、よりスポーツ活動の利便性向上に務めた。	
また、スポーツ活動も多様化しており、こうした市民ニーズへの対応として、スポーツを「する」「みる」「ささえる」環境づくりをすすめる新たなビジョンの策定にともない、異分野融合によるイベントの実施や官民連携を実現するプラットフォームの構築など、スポーツ実施率の更なる向上を図る。	
ビーチ・マリンスポーツ推進事業については、引き続き施設整備に向け関係団体との協議等を進めながら大型スポーツイベントの誘致や国際大会の誘致に繋げ、交流人口の拡大、賑わいの創出などに繋げていく。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	スポーツ推進計画策定事業	—	○		19,606	12,606	1.0				
2	スポーツ普及・活性化事業	○	○		23,634	13,554	1.2			0.6	
3	大型スポーツイベント等誘致事業	○	○		41,394	32,994	1.2				
4	パラスポーツ推進事業	—	○		29,856	27,756	0.3				
5	ビーチ・マリンスポーツ推進事業	○	○		46,791	42,591	0.6				
6	スポーツ発信交流事業	—	○		52,049	32,589	2.7			0.2	
7	生涯スポーツ振興事業	—	—		591,168	580,388	1.3			0.6	
8	競技スポーツ振興事業	—	○		18,751	12,731	0.7			0.4	
9	スポーツ施設運営事業	—	○		3,308,786	3,289,886	2.7				
10	スポーツ施設整備基金積立金	—	—		914	214	0.1				
11	スポーツ文化推進運営経費 (一般経費のみ)	—	—		15,620	6,660	1.2			0.2	
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					4,148,569	4,051,969	13.0			2.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 スポーツ推進計画策定事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市が平成31年3月に策定した「第2期浜松市スポーツ推進計画」及び令和元年7月に策定した「スポーツ施設個別整備方針」が、令和6年度をもって終期を迎えることから、今後のスポーツ政策を戦略的に推進するため、次期スポーツ推進計画を策定する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2024	2024	一般会計	自治事務(その他)	スポーツ基本法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算						12,606
	決算						
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源						12,606
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)							7,000
人工	正規						1.0
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)							19,606

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	02	01	000625000	01	スポーツ振興課	松野英男	2024.7.1

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

令和6年度臨時事業

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

令和6年度臨時事業

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

令和6年度臨時事業

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

2つの計画が同時に終期を迎えるため、計画策定を一体的に実施する。計画策定にあたっては、支援業務委託により職員の負担を減らしつつ、専門的知見を活かし効率的に業務を実施する。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

次期計画期間中の施策の方向性を定めるため、新たなスポーツ施策の視点を取り入れた次期計画策定と、スポーツ施設個別整備方針の見直しを一体的に実施する。

- ・計画名称 浜松市スポーツ推進計画(浜松市スポーツ推進ビジョン)
- ・計画期間 5年間(令和7年度から令和11年度まで)
- ・業務内容 ニーズ調査、計画案作成、パブリックコメント実施、計画公表

(管理番号)									
2024年度	分野 06	基本政策 01	政策 02	予算費目 01	所属コード 000625000	事業 02	(担当課) スポーツ振興課	(責任者) 松野英男	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 02 スポーツ普及・活性化事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

浜松市スポーツ協会など本市のスポーツ振興を支える団体と連携を図り、市民のスポーツ活動を活発化させ、市民のスポーツ実施率を向上させる。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2010	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	☐	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	☐	(施策)	Ⅲ-3(3)ア					

(4) 関連するSDGsのゴール

	③保健							
事業とゴールの 関連性	スポーツ実施率の向上により心身ともに健やかな生活を促し、市民一人ひとりの健康寿命を延伸させる。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	4,678	4,041	6,633	5,032	13,119	13,554
	決算	4,678	3,370	6,217	4,702	12,814	
	国・県支出		444	525	587		
	市債						
	その他						
	一般財源	4,678	2,926	5,692	4,115	12,814	13,554
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		8,960	8,960	8,960	11,340	9,240	10,080
人工	正規	1	1	1	1.5	1.2	1.2
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0	0	0	0.3	0.3	0.6
年間経費(予算又は決算+A+B)		13,638	12,330	15,177	16,042	22,054	23,634

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
トップアスリート交流人数(人)		目標			1,500	1,650	1,820	2,000
		実績			2,124	2,154	2,683	
パラアスリート交流人数(人)		目標			450	500	550	600
		実績			675	762	3,472	
地域スポーツ指導者登録者数(人)		目標	355	360	370	380	390	405
		実績	294	288	293	301	310	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	02	01	000625000	02	スポーツ振興課	松野英男	2024.7.1

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

- ・トップアスリート連携事業により、トップアスリートのプレーを間近に感じることでスポーツに対する関心を抱かせ、スポーツ実施に繋げていく。
- ・「三遠ネオフェニックス(バスケットボール)」「アグレミーナ浜松(フットサル)」「ブレス浜松(バレーボール)」「ジュビロ磐田(サッカー)」などのプロスポーツチームとの連携を図る。
- ・トップアスリート連携事業にパラアスリートの派遣を加え、パラスポーツへの理解と啓発に努める。
- ・スポーツ健康相談事業によりメディカルチェックや講演会による啓発を行う。
- ・浜松市地域スポーツ指導者養成講習会事業(各地域でのスポーツ活動の中心となる指導者を養成する)によりスポーツ活動の応援団を増やす。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・トップアスリート連携事業などを実施し、するスポーツの推進を図った。
- ・トップアスリート連携事業により、「ホンダFC」、「三遠フェニックス」、「スズキアスリートクラブ」、「ヤマハ発動機ジュビロ」、「ヤマハ野球部」の選手を幼稚園や小中学校に派遣し、トップアスリートのプレーを間近で感じてもらい「みるスポーツ」の振興を図った。
- ・「スポーツ健康相談事業」において医学的な啓発活動を行うことにより、ケガの予防などの意識を高めた。
- ・「地域スポーツ指導者講習会養成事業」を実施し地域スポーツ振興のリーダーを育成した
- ・パラスポーツの種目として、ブラインドサッカーで2校、ボッチャで1園、選手及び指導者を派遣し、インクルーシブスポーツの推進を図った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

性別、年齢、障害の有無等に関係なく、多様な主体がスポーツに楽しむために、誰もが等しく参加できるスポーツ実施環境を整える必要がある

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・スポーツ推進審議会において、第2期浜松市スポーツ推進計画の進捗状況について「する」「みる」「ささえる」のそれぞれの視点で確認した。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・トップアスリート連携事業では、パラスポーツ選手の派遣を加え、障がい者スポーツへの理解を深めていく。
- ・地域スポーツ指導者について、広報周知を強化し、登録者の確保に努める。
- ・第2期浜松市スポーツ推進計画の進捗管理をスポーツ推進審議会を中心に実施していく。
- ・第3期浜松市スポーツ推進計画の策定に向けて、検討を始める。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

- ・地元のトップアスリート等を学校等に派遣する「トップアスリート連携事業」により、スポーツへの興味を抱いてもらう。
- ・トップアスリート連携事業にパラアスリートの派遣を加え、パラスポーツへの理解と啓発に努める。

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	02	01	000625000	03	スポーツ振興課	松野英男	2024.7.1

事業シート

(事業名) 03 大型スポーツイベント等誘致事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

大型スポーツイベントの開催やトップアスリート合宿の誘致などを通じて、市民の皆様にはスポーツの感動に触れていただくため「みるスポーツ」を推進する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2016	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	☐	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	☐	(施策)	Ⅲ-2(2)イ					

(4) 関連するSDGsのゴール

	③保健					⑧成長・雇用	
						⑪実施手段	
事業とゴールの 関連性	③東京オリンピック・パラリンピックや国際大会、全国大会などを通じ、市民がスポーツにおける感動に触れることで、市民の健康的な生活を促進する。 ⑧国際的なスポーツイベントなどを通じ、国際誘客を促進し、交流人口を拡大する。 ⑪世界のアスリートを受け入れることを契機に、国際的なパートナーシップを築き上げ、多文化共生社会を促進する。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	79,775	6,335	13,217	16,211	13,431	32,994
	決算	77,968	6,335	11,574	14,642	8,627	
	国・県支出		500	4,616			
	市債						
	その他	650				209	
	一般財源	77,318	5,835	6,958	14,642	8,418	32,994
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		15,540	12,460	12,460	7,700	8,400	8,400
人工	正規	2	2	2	1.1	1.2	1.2
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0	0	0			
年間経費(予算又は決算+A+B)		93,508	18,795	24,034	22,342	17,027	41,394

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
大型スポーツイベント等誘致数(件)		目標	10	10	10	10	10	10
		実績	13	3	14	16	38	
欧米豪からの外国人宿泊客数(千人)		目標	36	—	—	—	—	—
		実績	31	—	—	—	—	—
大型ビーチ・マリンスポーツイベントの誘致等		目標			調査研究・ 目標設定	誘致交渉	誘致交渉	イベントの 開催
		実績			調査研究・ 目標設定	誘致交渉	誘致交渉	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	02	01	000625000	03	スポーツ振興課	松野英男	2024.7.1

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

- ・各競技団体と連携し、大型スポーツイベント、合宿誘致に向けた調整
- ・ベトナムU17男子サッカーチーム事前合宿の誘致及び受け入れ
- ・各種国際大会、全国大会の開催誘致及び大会運営を支援する大会補助金の交付
- ・本市を本拠地とするプロスポーツチームの観戦招待事業を実施
- ・ブラインドサッカー日本選手権を開催するとともに市内大型商業施設での体験会を実施
- ・全国高等学校選抜ボート大会の開催(全国高等学校選抜ボート大会実行委員会への開催負担金)



5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・全国大会以上の大規模大会の開催事業費補助金を9件交付したことで、指標である目標値を超えることができた。
- ・レガシー協定に基づくブラジル選手団の事前合宿受け入れ調整を積極的に実施していく必要がある。
- ・誘致用パンフレットを首都圏の展示会で配布したことで、関心を持った中央競技団体等に引き続き誘致の調整を図る。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・2025年11月に開催される東京2025デフリンピック大会に向け、ブラジル選手団が市内で事前合宿をするため、ブラジルろうあスポーツ連盟代表団と協定書を締結し、受け入れ準備をしていく。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人費 現状

- ・誘致用のパンフレット等広報媒体を制作し、各競技団体と連携を図るとともに首都圏での展示会で誘致活動を実施した。
- ・浜松を本拠地とするプロスポーツチームとの小中学生観戦招待事業は、企画展開方法や学校との連携等の運営ノウハウが得られたため、チーム独自の企画展開を行うよう調整していく。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人費 現状

- ・大型スポーツイベント誘致に向け、各競技団体と連携を図りながら、PR活動を展開する。
- ・2025年デフリンピック大会の事前合宿、2026年アジア競技大会等の国際大会に向けた受入れ体制を強化していく。
- ・ブラジルとのスポーツを通じた相互交流をさらに促進するため、浜松選手団をブラジルオリンピック委員会主催の大会へ派遣し、競技力向上及び国際交流を図る。



7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

- ・各競技団体と連携し大型スポーツイベントの誘致に向けた誘致交渉を実施
- ・国際大会、全国大会の開催誘致及び大会運営を支援する大会補助金の交付
- ・ナショナルチーム、プロチーム、実業団の事前合宿の誘致及び合宿補助金の交付
- ・レガシー協定に基づく、ブラジル選手団の事前合宿受け入れの実施
- ・ブラジルろうあスポーツ連盟等との協定締結に伴うブラジル出張
- ・ブラジルとのスポーツを通じた相互交流促進のため、ブラジルオリンピック委員会主催のブラジリアンユーススクール2024大会に浜松選手団を派遣
- ・全国高等学校選抜ボート大会の開催(全国高等学校選抜ボート大会実行委員会への開催負担金)
- ・国内最高峰のエアロビック競技会である全日本総合エアロビック選手権大会への開催負担金

(管理番号)									
2024年度	分野 06	基本政策 01	政策 02	予算費目 01	所属コード 000625000	事業 04	(担当課) スポーツ振興課	(責任者) 松野英男	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 04 パラスポーツ推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

東京2020パラリンピック競技大会を契機にパラスポーツ推進の機運が高まりをレガシーとして継承するため、市民のパラスポーツに対する理解及び興味関心を高めるための事業を実施し、共生社会の実現を目指す。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2023	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

		④教育	⑤ジェンダー					⑩不平等
事業とゴールの 関連性	④パラスポーツの価値や異文化、共生社会について何かできるかと考える機会を創出する。 ⑤障がい者と健常者のお互いの理解を深めることで、誰もが同じフィールドで夢と希望を持てる社会を実現する。 ⑩障がいの有無にかかわらず誰もが楽しめるインクルーシブスポーツを推進し、多文化共生社会を促進する。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算					27,509	27,756
	決算					22,961	
	国・県支出					1,781	2,783
	市債						
	その他						
	一般財源					21,180	24,973
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)						2,100	2,100
人工	正規					0.3	0.3
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)						25,061	29,856

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
パラスポーツへの興味度(%)		目標					35	36
		実績					43	
パラスポーツ体験延べ人数(人)		目標					500	500
		実績					3,472	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	02	01	000625000	04	スポーツ振興課	松野英男	2024.7.1

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

- ・スポーツ大会出場激励金要綱を改正し、障がい者スポーツ大会出場激励金制度を展開
- ・県わかふじ大会(9月)、市障害者スポーツ大会及び東海3県2市障害者スポーツ大会(9月16日)の開催、全国障害者スポーツ大会(10月)の開催に伴う選手派遣・選考の実施
- ・障害の有無や年齢、性別、国籍等を問わず誰もが楽しめるインクルーシブスポーツの体験イベントの実施
- ・ブラインドサッカー日本選手権準決勝ラウンドの開催

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

- (1)事業の成果と課題
指標の達成度

進んでいる

 - ・インクルーシブスポーツイベントを市内各所で開催することにより、パラスポーツの体験延べ人数が指標目標を達成することができた。
 - ・昨年度に引き続きブラインドサッカー日本選手権準決勝ラウンドを開催し、障害に対する理解やパラスポーツの普及を図ることができた。
- (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)
 - ・静岡県がパラスポーツの官民連携組織として、2023年8月に「パラスポーツ推進コンソーシアム(チームパラスポしずおか)」を設立し県下でパラスポーツの推進を展開。
 - ・2025年に聴覚障害者のスポーツの祭典「東京デフリンピック」の事前合宿候補地として、ブラジル選手団の受け入れ体制の構築。

6 事業の見直し (Action)

- (1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目

改善

小項目

委託・指定管理

/

協働・助成

事業費

現状

人工

現状

 - ・全国障害者スポーツ大会の選手選考・派遣した浜松選手団の様々な意見を踏まえ、改善していく。
 - ・浜松市障害者スポーツ大会の開催に向け、実行委員の団体とよりよい運営方法となるよう見直していく。
 - ・インクルーシブスポーツイベントを市内各所で展開した結果を踏まえ、さらに多くの市民にパラスポーツの魅力を創出させていく。
- (2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目

改善

小項目

協働・助成

/

事業費

拡大

人工

拡大

 - ・障害の有無に関わらず、年齢、性別、国籍などに関係なく、誰もがスポーツを楽しめる環境づくりを目指して、民間やスポーツ競技団体等と連携してインクルーシブスポーツの推進に取り組んでいく。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

- ・県わかふじスポーツ大会、全国障害者スポーツ大会の選手選考と派遣。
- ・市障害者団体と連携した浜松市障害者スポーツ大会の開催。
- ・東海3県2市障害者スポーツ大会への選手選考と派遣。
- ・民間の実行委員会によるインクルーシブスポーツイベントの実施(負担金)
- ・ブラインドサッカー日本選手権準決勝ラウンド開催(負担金)

(管理番号)									
2024年度	分野 06	基本政策 01	政策 02	予算費目 01	所属コード 000625000	事業 05	(担当課) スポーツ振興課	(責任者) 松野英男	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 05 ビーチ・マリンスポーツ推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

「ビーチ・マリンスポーツ事業化計画」に基づき、大会誘致ゾーンや観光・交流ゾーンなど拠点となる地区の整備を行い、ビーチ・マリンスポーツを普及させる。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2019	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	○	(施策)	Ⅲ-2(2)イ					

(4) 関連するSDGsのゴール

			⑭海洋資源					
事業とゴールの 関連性	海や湖を利用する側として、自然の大切さを知り、共生できる取り組みを行う。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	15,675	12,706	45,439	45,975	41,064	42,591
	決算	4,616	11,789	43,720	45,775	39,906	
	国・県支出				10,584		
	市債						
	その他					9,432	10,032
	一般財源	4,616	11,789	43,720	35,191	30,474	32,559
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		2,800	2,800	2,800	2,100	4,200	4,200
人工	正規	0	0	0	0.3	0.6	0.6
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		7,416	14,589	46,520	47,875	44,106	46,791

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
江之島ビーチコートの整備		目標	サブコート完成	基本計画 ・設計	基本設計	土壌調査	実施設計	解体工事
		実績	サブコート完成	基本計画 ・設計	基本設計・ 地歴調査	事業手法検討・ 土壌調査	DBO発注準備	
大型ビーチ・マリンスポーツイベントの誘致 等		目標			調査研究・ 目標設定	誘致交渉	誘致交渉	イベントの 開催
		実績			調査研究・ 目標設定	誘致交渉	誘致交渉	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	02	01	000625000	05	スポーツ振興課	松野英男	2024.7.1

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

- ・江之島ビーチコート整備に向け、民間活力を導入した発注手法の検討した結果、費用面での優位性等によりDBO方式を選択した。
- ・三ヶ日マリンスポーツ拠点の整備については、整備候補地の地質調査を実施した。
- ・ビーチ・マリンスポーツ推進協議会部会を開催し、基本設計の進捗や大会・イベント開催に関する情報交換を実施した。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・江之島ビーチコート整備について事業手法を検討し、民間活力を導入した発注方式に優位性があることを確認できたことから、発注に向けた準備を進めた。
- ・三ヶ日地区の整備候補地について、地質調査を実施し計画どおり業務を完了することができた。
- ・ビーチ・マリンスポーツ推進協議会部会を開催し、活発な意見交換を行うことができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・ビーチスポーツは発展途上の競技であることから、普及促進や日常利用を促進させるアイデア・事業が求められる。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・事業化計画にて示した整備について、江之島ビーチコート整備事業の公募に向けて事業内容の最適化を検討した。
- ・三ヶ日地区については、基本構想に基づき候補地の地質調査を実施した。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・江之島ビーチコート整備事業の入札公告を行い、令和6年度中の契約締結に向けて作業を進める。
- ・三ヶ日地区について、整備に向けた必要な業務(環境影響調査など)を実施していく。
- ・江之島ビーチコート整備事業と合わせて、イベントの開催やWEBサイトによる情報発信等により、国内外からの誘客による交流人口の拡大を図る。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

- ・江之島ビーチコート整備事業の入札公告を行い、年度末までに契約を締結する。
- ・三ヶ日マリンスポーツ拠点整備に向けて、環境影響調査を実施する。
- ・ビーチ・マリンスポーツ推進協議会の在り方を検討するとともに、競技団体と連携したイベントの実施やWEBサイトによる情報発信等により大会の誘致を目指していく。

(管理番号)									
2024年度	分野 06	基本政策 01	政策 02	予算費目 01	所属コード 000625000	事業 06	(担当課) スポーツ振興課	(責任者) 松野英男	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 06 スポーツ発信交流事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

「浜松シティマラソン」を開催し、市内外に浜松の魅力を発信するとともに、大会に携わるボランティアスタッフを募集し、大会参加者との交流の場を提供することで「するスポーツ」「ささえるスポーツ」の推進を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2007	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

	③保健							
事業とゴールの 関連性	スポーツ実施率の向上により心身ともに健やかな生活を促し、市民一人ひとりの健康寿命を延伸させる。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	21,234			16,000	17,500	32,589
	決算	19,411			16,000	17,500	
	国・県支出						
	市債						
	その他	9,000			8,000	3,000	3,000
	一般財源	10,411			8,000	14,500	29,589
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		16,520	16,520	17,220	18,480	17,080	19,460
人工	正規	2	2	2	2.6	2.4	2.7
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0	0	0	0.1	0.1	0.2
年間経費(予算又は決算+A+B)		35,931	16,520	17,220	34,480	34,580	52,049

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
浜松シティマラソン中学生ボランティア数		目標		180	190	200	210	220
		実績	165	—	—	—	—	
デュアルモードでスポーツに取り組む機会の提供		目標			リモートラン の検討	リアル・オン ラインでのイ ベント実施	オンラインで のイベント検 討	
		実績			リモートラン の検討	リアルイベントで実施	リアルイベントで実施	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	02	01	000625000	06	スポーツ振興課	松野英男	2024.7.1

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

・コロナ前の種目を復活し、全ての部門(ハーフ、1.5km、5km)を実施し開催。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度 計画通り

- ・第20回浜松シティマラソンは、2024年2月18日に3部門(ハーフ、1.5km、5km)で開催した。
- ・7,152人の応募があり、当日は6,438人が出走し、完走者は6,014人。
- ・市民ボランティア528人の協力を得た。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・コロナ禍が落ち着き、各地域で大会が開催された。
- ・募集定員に満たない大会が多く見受けられた。
- ・大会運営の担い手不足や資金繰りの悪化により、廃止になった大会もあった。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

- ・交通検討会議や運営会議などを重ねて、安心・安全な大会を開催することができた。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 改善 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

- ・浜松シティマラソンが継続して開催されるよう、組織体制等の見直しを検討する必要がある。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

- ・実行委員会組織体制の再構築の検討を行い運営の効率化を図る。

(管理番号)									
2024年度	分野 06	基本政策 01	政策 02	予算費目 01	所属コード 000625000	事業 07	(担当課) スポーツ振興課	(責任者) 松野英男	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 07 生涯スポーツ振興事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市民がいつでもどこでも気軽にスポーツに親しめる機会を提供し、スポーツ推進スローガン「1・1・1運動」の推進とスポーツ実施率の向上を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2007	-	一般会計	自治事務(法令義務)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

		③保健						
事業とゴールの 関連性	スポーツ実施率の向上により心身ともに健やかな生活を促し、市民一人ひとりの健康寿命を延伸させる。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	70,228	77,452	67,666	61,637	138,319	580,388
	決算	69,162	75,507	59,414	68,033	133,411	
	国・県支出						
	市債						452,100
	その他	49,616	21,990	24,053	49,339	48,810	29,500
	一般財源	19,546	53,517	35,361	18,694	84,601	98,788
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		7,000	7,000	7,700	9,940	9,940	10,780
人工	正規	1	1	1	1.3	1.3	1.3
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)				0.3	0.3	0.6
年間経費(予算又は決算+A+B)		76,162	82,507	67,114	77,973	143,351	591,168

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
年間学校開放施設利用者数(千人)		目標	1,680	1,680	1,680	1,680	1,680	1,680
		実績	1,532	1,159	1,286	1,420	1,379	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	02	01	000625000	07	スポーツ振興課	松野英男	2024.7.1

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

【スポーツ推進委員等活動支援事業】

- ・スポーツ推進委員の資質向上のために行う研修会などへの支援。

【体育振興会等地域スポーツ普及事業】

- ・校区体育振興会や浜松市スポーツ協会支部が行う地域での体育活動への支援。

【小中学校スポーツ施設開放事業】

- ・社会体育振興のため、小中学校の体育館やグラウンド、柔剣道場等を広く市民に開放する。
- ・学校施設をスポーツ施設として最大限活用するため、施設利用予約をスマート化する実証事業を開始。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

【スポーツ推進委員等活動支援事業】

- ・スポーツ推進委員の資質向上のために行う研修会などが実施できた。

【体育振興会等地域スポーツ振興事業】

- ・地域ごとに独自のスポーツイベントを開催し、地域スポーツの普及が図られた。

【小中学校スポーツ施設開放事業】

- ・学校スポーツ施設が有効利用され、地域住民のスポーツ振興が図られた。
- ・スマート化事業について、全市域へ拡大に向け事業を進められた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

スポーツ大会等の実施回数や参加者の増加について、前年度と比較し増加していることから、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前の水準に戻りつつある。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・各地域スポーツ団体が様々な大会開催を実施し、市民がスポーツに参加する機会の創出を図った。
- ・施設再開後の小中学校スポーツ施設開放事業については、地域スポーツ活動の拠点として有効活用が図られた。
- ・小中学校スポーツ施設開放事業におけるスマート化を進めた。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・各競技団体等に大会等の実施に向けての助言・提案を行い、スポーツ機会の提供を継続する。
- ・小中学校スポーツ施設開放事業のスマート化工事を全市域完了する。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

【スポーツ推進委員等活動支援事業】

- ・スポーツ推進委員の資質向上のために行う研修会などへの支援。

【体育振興会等地域スポーツ普及事業】

- ・小学校区単位で設立された体育振興会や体育協会支部が行う地域での体育活動への支援。

【小中学校スポーツ施設開放事業】

- ・社会体育振興のため、小中学校の体育館やグラウンド、柔剣道場等を広く市民に開放する。
- ・スマート化を全市域で実施する。

(管理番号)									
2024年度	分野 06	基本政策 01	政策 02	予算費目 01	所属コード 000625000	事業 08	(担当課) スポーツ振興課	(責任者) 松野英男	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 08 競技スポーツ振興事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

競技力の向上を目的とした選手育成事業の実施や全国大会出場者への激励金贈呈、競技スポーツに取り組む市民への活動を支援する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2007	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	-	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

	③保健							
事業とゴールの 関連性	スポーツ実施率の向上により、健康寿命が延びていることを市民が実感できるようにする。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	10,260	10,256	10,369	11,050	14,966	12,731
	決算	10,098	6,798	8,545	9,699	11,320	
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	10,098	6,798	8,545	9,699	11,320	12,731
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		4,900	4,900	4,900	5,460	5,460	6,020
人工	正規	1	1	1	0.7	0.7	0.7
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)				0.2	0.2	0.4
年間経費(予算又は決算+A+B)		14,998	11,698	13,445	15,159	16,780	18,751

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
高校生以下の全国大会出場者数(人)		目標	870	876	882	888	894	900
		実績	812	231	651	796	725	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	02	01	000625000	08	スポーツ振興課	松野英男	2024.7.1

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

【静岡県市町対抗駅伝競走大会事業】

・浜松市実行委員会を組織し、選手選考会でチーム編成を行い、静岡県市町対抗駅伝競走大会に、浜松市南部、北部の2チームを出場させる。

【ジュニアスポーツ育成事業】

・市内の中学生で選抜選手を対象に、11種目の競技で強化練習会を開催し、競技力の向上を図る。
・ジュニアスポーツ競技力向上等事業費補助金交付要綱を見直し、多くの団体に補助金を活用してもらう。

【全国大会出場選手等激励事業】

・国際大会、全国大会へ出場する選手、コーチ、監督に激励金を贈呈し顕彰する。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

【市町対抗駅伝競走大会】

・浜松市北部は準優勝、浜松市南部は第3位と、ともに上位の成績を収めた。

【ジュニアスポーツ育成事業】

・11種目の各競技で強化練習会を開催し、中学生の競技力向上に寄与した。
・新規での申請が1件を含め8事業の申請があった。

【全国大会出場選手等激励事業】

・コロナ禍が落ち着き、多くの競技で全国大会開催されたため、全国大会出場者が例年並みの人数に戻った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

・区再編を踏まえ、2024年度に向けた駅伝チーム編成の協議を大会事務局と進めている
・休日の地域部活動への移行に関わる支援等の検討

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工
・ジュニアスポーツ競技力向上等事業費補助金を6団体8事業に交付した。R4年度から予算を増額し全ての申請に対応することができた。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工
・駅伝業務を一部委託化し、職員の事務負担軽減を図る。
・全庁的な補助事業の見直し周期であるため同種の委託や負担金事業との整合を図る中で積極的な見直しを行う。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

【静岡県市町対抗駅伝競走大会事業】

・駅伝業務の一部を委託する事業者と連携を図り、浜松市チーム大会出場のためのサポートを行うとともに、区再編による浜松市チーム再編の検討を行う。

【ジュニアスポーツ育成事業】

・市内の中学生で選抜選手を対象に、11種目の競技で強化練習会を開催し、競技力の向上を図る。また、指導者のレベル向上を目指す。
・ジュニアスポーツ競技力向上等事業費補助金交付要綱を見直し、ジュニアの普及促進・競技力向上の推進を図る。

【全国大会出場選手等激励事業】

・国際大会、全国大会へ出場する選手、コーチ、監督に激励金を贈呈し顕彰する。

(管理番号)									
2024年度	分野 06	基本政策 01	政策 02	予算費目 01	所属コード 000625000	事業 09	(担当課) スポーツ振興課	(責任者) 松野英男	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 09 スポーツ施設運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

スポーツ施設の適正な管理運営、効果的な整備を行い、競技スポーツ・生涯スポーツの場を提供する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2007	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

	③保健							
事業とゴールの 関連性	スポーツ実施率の向上により、心身ともに健やかな生活を促し、市民一人ひとりの健康寿命を延伸させる。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	1,877,265	2,062,190	1,873,550	1,417,748	2,040,741	3,289,886
	決算	1,853,579	2,029,313	1,800,030	1,344,105	1,922,998	
	国・県支出		68,148			14,468	
	市債	368,200	152,600	333,400			518,300
	その他	117,862	465,264	47,705	50,852	211,754	293,000
	一般財源	1,367,517	1,343,301	1,418,925	1,293,253	1,696,776	2,478,586
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		18,200	21,000	19,600	17,500	14,700	18,900
人工	正規	3	3	3	2.5	2.1	2.7
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		1,871,779	2,050,313	1,819,630	1,361,605	1,937,698	3,308,786

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
生涯スポーツ施設の利用者数(千人)		目標	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600
		実績	5,417	3,746	4,447	4,400	6/10時点集計中	
新野球場を含めた遠州灘海浜公園の施設 整備等に向けた静岡県との協議		目標	県協議 (基本計画)	県協議	県協議	県協議	県協議	県協議
		実績	県協議 (基本計画)	県協議	県協議	県協議	県協議	
四ツ池公園スポーツ施設再整備の検討		目標	委員会協議	整備方針策定	整備方針策定	方向性の検討	委員会協議	基本構想
		実績	委員会協議	委員会協議	委員会協議	委員会協議	委員会協議	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	02	01	000625000	09	スポーツ振興課	松野英男	2024.7.1

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

- ・民間事業者への委託や指定管理者制度によりスポーツ施設55施設の管理運営を行った。
- ・機能維持・向上のための修繕工事等を実施した。
- ・県立野球場の整備に向けての県との連携協力を行った。
- ・四ツ池公園運動施設の整備検討を行った。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・施設利用者は、コロナ禍以前の水準に戻りつつある状況。
- ・天竜体育館の大規模改修を実施した。
- ・静岡県野球場基本計画策定に向け、県との情報交換を行った。
- ・古橋廣之進記念浜松市総合水泳場のRO導入に向け第2期事業の発注を行った。
- ・浜松アリーナリニューアル構想の策定について、スポーツ庁の委託を受けて実施した。
- ・四ツ池公園運動施設の整備方針を公表し、整備構想の策定に向けた具体的な議論を進めていくための調査業務を開始した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

プロスポーツやインクルーシブスポーツなど社会ニーズの変化に対応した施設整備

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・古橋廣之進記念浜松市総合水泳場のRO導入のノウハウを浜松アリーナにも展開する。
- ・施設の機能維持のため計画的に修繕工事を実施していく。
- ・老朽化した施設が増加しているため、計画的な維持修繕に努める。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・安全性の確保を最優先とし、計画的に修繕を進める
- ・老朽化した施設が多いため、施設の統合・縮小・廃止など検討する。
- ・四ツ池公園運動施設については、県の野球場整備の動向を注視する。
- ・浜松アリーナ次期事業の事業者選定に向けたアドバイザー業務を実施し、円滑な事業更新の準備をしていく。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

- ・浜松アリーナの次期事業の事業者公募、事業者選定に向けた業務を着実に進める。
- ・老朽化した浜松市武道館は、移転新築による整備を前提に浜松アリーナや浜北総合体育館との役割分担を考慮しながら整備を進めていく。
- ・四ツ池公園運動施設について、県の動きを踏まえながら基本構想策定に向けた調査を行う。
- ・静岡県の野球場の整備に向けて、県との連携協力を行う。

(管理番号)									
2024年度	分野 06	基本政策 01	政策 02	予算費目 01	所属コード 000625000	事業 10	(担当課) スポーツ振興課	(責任者) 松野英男	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 10 スポーツ施設整備基金積立金

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

浜松市スポーツ施設整備基金の積立金。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1975	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市スポーツ施設整備基金に関する条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	500,242	464	489	242	200	214
	決算	500,192	264	389	242	100	
	国・県支出						
	市債						
	その他	192	264	389	242	100	214
	一般財源	500,000					
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		280	560	560	700	700	700
人工	正規				0.1	0.1	0.1
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0	0	0			
年間経費(予算又は決算+A+B)		500,472	824	949	942	800	914

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	02	01	000625000	10	スポーツ振興課	松野英男	2024.7.1

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

浜松市スポーツ施設整備基金の運用益や市民からの寄附金を積み立てる。なお、基金は条例に基づきスポーツ施設の整備費に充当する。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度
・運用益を基金へ積み立てた。
2023年度末基金残高＝686,874千円

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工
2023年度は一般財源からの積み立てがなく、運用益収入及び寄附金収入を積立した。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工
基金を有効に活用し、計画的な施設整備に努める。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

浜松市スポーツ施設整備基金に関する条例に基づき、基金の運用益を基金に繰り入れし積み立てる。また、市民、民間事業者などからの寄付金があれば、基金に積み立てる。基金はスポーツ施設の整備費に充当するときに処分する。

(管理番号)									
2024年度	分野 06	基本政策 01	政策 02	予算費目 01	所属コード 000625000	事業 11	(担当課) スポーツ振興課	(責任者) 松野英男	(基準日) 2024.7.1

事業シート (事業名) 11 スポーツ文化推進運営経費(一般経費のみ)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

スポーツ振興にかかる一般事務に要する経費

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2007	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	-	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	12,633	9,591	9,848	10,654	15,142	6,660
	決算	10,681	8,346	9,215	10,072	13,569	
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	10,681	8,346	9,215	10,072	13,569	6,660
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		11,480	10,780	12,180	6,580	7,980	8,960
人工	正規	2	2	2	0.9	1.1	1.2
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0	0	0	0.1	0.1	0.2
年間経費(予算又は決算+A+B)		22,161	19,126	21,395	16,652	21,549	15,620

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)



(1)事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)



(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

